

製品名: MMP7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21326**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:30kD;Observed MW:30kD

抗原情報

遺伝子名	MMP7
別名	MMP7;MPSL1;PUMP1;Matrilysin;Matrin;Matrix metalloproteinase-7;MMP-7;Pump-1 protease;Uterine metalloproteinase
遺伝子 ID	4316
SwissProt ID	P09237
免疫原	ヒト MMP7 の組み換えタンパク質

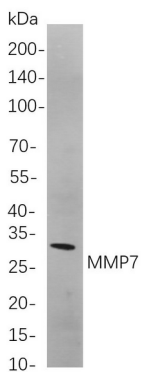
背景

細胞局在: 分泌型。マトリックスメタロペプチダーゼ 7 (MMP7) ホモサピエンス この遺伝子は、マトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) のペプチダーゼ M10 ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのタンパク質は、胚発生、生殖、組織リモデリングなどの正常な生理学的プロセス、および関節炎や転移などの疾患プロセスにおける細胞外マトリックスの分解に関与しています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって成熟プロテアーゼを生成します。この分泌型プロテアーゼは、プロテオグリカン、フィブロネクチン、エラスチン、カゼインを分解します。この酵素は、保存された C 末端ヘモペキシンドメインを欠く点で、ほとんどの MMP ファミリーメンバーと異なります。この酵素は創傷治癒に関与しており、マウスを用いた研究では、腸粘膜におけるディフェンシンの活性を制御することが示唆されています。この遺伝子は、11 番染色体上の MMP 遺伝子群の一部である。この遺伝子は、複数のヒト癌において発現レベルが上昇している。[RefSeq 提供、2016 年 1 月]

研究分野

-

画像データ



MMP7 ウサギ mAb を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。